

今年もよろしくお願ひいたします。2015年春

SOE NEWS No.105 2015.1

センスオブアース・市民による自然共生パンゲアからのお知らせ

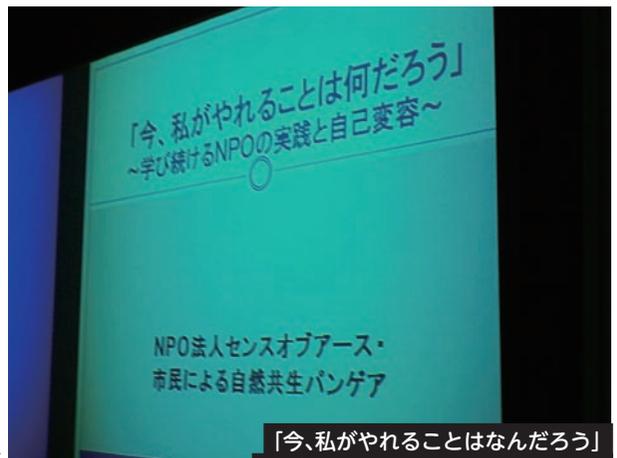


中央学院大学の出張授業で、NPOの実践に使った紙芝居を読むSOE大学生スタッフ

中央学院大学2年生「自分たちがしっかりと今の時代を支えて今できることをやっていけば将来に地球を残していけると思った」「小さなことでも一人ひとりが意識して行動すれば、少しずつでも必ず改善していく」「同じ大学生が活動しているのを見て、広い世界のことを考えて行動したい。」

中央学院大学 NPO/NGO論 (中基由香里講師)のSOE外部講師授業 ©2014年12月18日

私たちが行った「今、私にできることはなんだろう」の授業は、今を生きる大学生に、進む地球環境の問題や、学校での子どもたちの心の問題—いじめ、不登校、学級崩壊、青少年犯罪、暴力—などが、「命」の問題としてつながっていることを伝え、自分たちの問題として、この問題に立ち向かうために、NPOを設立、活動を開始したことを70枚以上のスライドを通して語りかけました。今の学生たちの間に、現在も解決していない「いじめ」があり、みんな当事者意識が高く、意欲的に、自分の課題意識をまとめてくれました。



「今、私がやれることはなんだろう」
学び続けるNPOの実践と自己変容

受講生たちの率直な意見

- ★NPOは幅広く活動し、自然保護や環境問題、いじめ対策など人や自然、環境問題に取り組む人のために活躍しているのがわかった。
- ★地球環境と学校での教育問題を関係もって考えているのはすごいと思った。自分の身の回りの小さなことからできることをコツコツやっていくことが必要だ。
- ★今回の授業を通して、現在の日本の学校教育の問題や環境問題等への問題取り組みについて知ることができ、学ぼうという意欲が生まれた。
- ★いろいろと考えさせられる授業だった。課題は多いけど、そういうものに向きあっていくこと

が大切だと思った。

- ★このまま良くないことが続けば、ますます悪くなる。
- ★今、この世の中でおきている問題がこんなにも進んでいるとは思わなかった。子どものとき、いじめに加担した。だからこれからは自分がその場面を見たら支える大人になりたいと思った。
- ★今後、自分たちができることとして環境のことを考えて行動し、増加しているお年寄りを支

援する。また、自分たちがやっている活動を周りに広げること。多くの人が環境について考えることになる。

- ★今まで環境問題は気にしていませんでした。この講義を聞いてこの問題に対して興味を持ち、どうすれば解決出来るかと考えたくなった。
- ★幼児たちと接する機会が多くて楽しそうな活動だと思った。食の安全など、みそ造りに参加してみたいと思った。
- ★いじめなどの心の荒廃や地球温暖化など改めて考えさせられる講義だった。これから自分が少しでもやれることを見つけられたらと思った。
- ★環境についてとてもよくわかった。また、環境について活動しているところもあるということがわかった。自分もできるだけ省エネや環境を汚さないように努力していきたい。
- ★青少年重大犯罪が増加してきて、子どもの心がかなり荒廃してしまっているの、やはり、今の子どもには心の教育が必要だ。
- ★私はいじめを受けていたので良くわかります。実際いじめを受ける人は気の弱い子、いつも一人である子などいろいろ見られやすい子が一番多い。
- ★同じ大学生の方が活動している様子を見て、自分も得意分野を生かした活動をしてみたいとなった。
- ★温暖化問題に限らず、障害者・教育問題について活動をしている団体があったら積極的に参加していきたい。活動に参加することによって、世界に貢献するだけでなく自分にも得られるものが何かあると思うので。
- ★いじめられたら、一人で悩まず、みんなに相談する。
- ★地球環境の悪化について誰かがやってくれるという考えでなく、一人ひとりが行動を起こさないと、いけないと感じた。





幼児～低学年向け エネルギー授業プログラム 「かぜとなかよし」

板橋区立加賀小学校 1年生

「かぜはどうして見えないのかな？」
「うちで使われているものも、かぜ
のおかげなんだなあ。」

板橋区資源環境部協働推進係が、事務局となり、7～8年前から、推進してきた市民・教師等で構成されている環境教育プログラム部会。毎年部員によって、新たに提案される授業プログラムがありますが、昨年に引き続き、エネルギーの授業提案が続いています。今回は、幼児・低学年向けエネルギープログラム（提案者、寺田茂・中基由香里・村松しづ子）。風で動くおもちゃを作って遊ぶ内容です。



4枚と8枚ばねのかざぐるま、紙トンボ、そして、シャボン玉づくりの4つに取り組みました。どれも子どもたちは大成功。最後に「今日のは、遊びみたいな授業だったよ。楽しかった!」「うちで妹にもつくってあげたい。」と言いにきた子が出たほどです。

子どもたちの感想

★すごいなーと思ったし、風の音ってこんなにすごいんだと思ったよ。



シャボン玉 かぜでとんでいく～

★風が吹くと鯉のぼりが泳いだり、ヨットが進んだりする。

★風ので紙コプターが上手に飛ばせた。

★風はすごいかなのでびっくりした。

★紙コプターを風の向きにして飛ばしたら、よく飛んだ。

★台風ってかぜでできているんだな。

★ビニールを広げて走ると、風が入るんだね。

★風は何で目に見えないんだろう。

★見えない風でいろんなことができてすごかった。かざぐるまがよく回った。

★風があると紙コプターがよくとんだ。

★風でいろいろできた。

★見えない風でも、いろいろなことに役立った。

★風はどうして見えないのかな。

★見えない風でいろんなことができてすごい。



かざぐるまができたよ～



ひまわりキッズガーデン 城山保育園

3歳児9人☆4・5歳児各12人☆計33人

「いもむしのたからぶくろ」

12月19日 於 前野公園

ひまわりキッズガーデン城山の「たからもの」発表をする子どもたち

志村坂上に届く坂の途中に、キッズガーデン城山保育園があります。3歳児から5歳児まで、3学年の子どもたちがなかよく、前野公園まで、安全に気をつけて歩いて行きました。とてもよく注意を守っていて感心します。

前野公園では、始めに、「キロリの鬼ごっこ」で体を温めました。3歳児もよく逃げ回ります。「にげるのが楽しかった。」「捕まえられるのが楽しかった。」「走るのが楽しかった。」

※前野公園では、この12月では珍しいテントウムシがいました。冬の季節でも、生きものたちはたくましく生きていて驚きました。最近の公園にテントウムシはいないことの方が多いのです。前野公園の植栽の力でしょうか。うれしいですね。

いもむしさんのお母さんを助けよう～紙芝居に夢中



いいにおいの葉っぱ あったよ



- ★「木の実、鳥の声、風の音を聞いた。」 ★「木の実、てんとう虫、大きい葉っぱを見つけた。」
- ★「小鳥の音がかわいかった。」 ★「くものすを見つけた。」 ★「木の実食べたかった。」
- ★「くものすを探したのが楽しかった。」 ★「木にさわって気持ちよかった。」 ★「ありを見たのが楽しかった。」★「鳥の声が楽しかった。」



「ぼくたちが手をのぼしてもとどかない大きな木」



「たくさん花や葉っぱを見つけたよ」

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp